

# 利根商同窓会、活性化に向け意見交換 生徒増に寄宿舎建設、部活動の充実

濱野校長は「高校全体の生徒数の減少はいたしかたないが、地域の人々の熱意にこたえるために組合立として学校経営に一定の生徒数が必要。志願者獲得に協力をお願いしたい」と要請した。

額などをあげた。目指す学校像として勉強や部活動に活気のある規模堅持の方針をあげ取り組みとして①地元や全国からの生徒受け入れに寄宿舎の設置②64名(4月より)③部活動の活性化④昨年8月から野球部監督に豊田義夫さん(近代付属高校)やサツカ部では山梨県都留市のベルデイJ.R.ユース監督を務める小川章さんを2月1日より招くとの報告をした。この他生徒支援策についても紹介した。

みなかみ町の利根沼田学校組合立利根商業高校(濱野雅樹校長)の利根商同窓会(秋元良介会長)は1月29日、利根商を語る会」を材木町のホテルベラヴィータで開催した。同窓会役員、学校関係者ら42人が出席し、同校の今後についてや志願者数獲得、部活動についてなど同校の活性化に向けて意見交換した。



秋元会長は「写真」県立移行や中高一貫の話が出たが組合立でやっていく」方針を述べ「志願者数が昨年12月の発表で114名と厳しい」と話し「同窓会は学校と一緒になつて改革に取り組む」と述べ志願者獲得をお願いした。